

令和 4 年度
兵庫教育大学大学院同窓会総会
第 41 回
全国研究大会【愛知県大会】

大会テーマ 「子どもの生涯にわたる幸せの基盤の育成」



主 催 兵庫教育大学大学院同窓会
主 管 兵庫教育大学大学院同窓会愛知県支部
共 催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会
会 期 令和 4 年 8 月 6 日（土）
会 場 アイリス愛知およびオンライン
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2 丁目 5-1 0
TEL : 052-223-3751

第41回 兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会【愛知県大会】

大会テーマ 「子どもの生涯にわたる幸せの基盤の育成」

主催 兵庫教育大学大学院同窓会

主管 兵庫教育大学大学院同窓会愛知県支部

共催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会

会期 令和4年8月6日（土）

会場 アイリス愛知およびオンライン

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2丁目5-10 TEL：052-223-3751

日 程

- 12：30～13：00 受付（会場参加の方のみ）
- 13：00～13：40 大学院同窓会総会
- 13：40～14：00 愛知県大会開会行事
- 14：00～14：20 教育実践研究活動等に係る表彰
- 14：20～14：50 学長講話
「これからの日本の教育と兵庫教育大学」
兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏
- 15：00～15：50 教育実践発表
①算数科における「かく力」の育成に関する研究
名古屋市立中根小学校 教諭 水野 貴彦 氏
②魅力ある学校づくりを目指した取り組み
—生徒一人ひとりの心に灯をつける活動を通して—
武豊町立緑丘小学校 教諭 山本 篤司 氏
- 16：00～17：00 記念講演
「子どもたちの将来展望と、『いじめ』『インターネット依存』
の関連を考える」
中部大学 現代教育学部 教授 三島 浩路 氏
- 17：00～17：10 愛知県大会閉会行事

目 次

総会次第	1
会長挨拶	2
総会議案	3
令和3年度退任役員	11
大学院同窓会会則	12
全国研究大会次第	17
実行委員長挨拶	18
教育実践等に係る表彰受賞者	19
学長講話	20
教育実践発表	21
記念講演	23
大学への寄付のお願い	24
令和5年度総会・全国研究大会のお知らせ	26
あとがき	27

令和4年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会

令和4年8月6日（土） 13:00～
於 アイリス愛知 ・ オンライン

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 1号議案 令和4年度 役員
 - 2号議案 令和3年度 事業報告
 - 3号議案 令和3年度（第40期） 会計決算報告
 - 4号議案 令和4年度 事業計画
 - 5号議案 令和4年度（第41期） 会計予算案
4. 退任役員への感謝状贈呈
5. 令和5年度総会・第42回全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】
開催予告
6. その他
7. 閉会

大学院同窓会の生き生きとした活動を目指して

兵庫教育大学大学院 同窓会長 新居 寛

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ひとことご挨拶を申し上げます。この3年間は、臨機応変な対応、時として場当たりの対応ととられかねない危なっかしい舵取りをしてまいりました。就任当初の4つの重点も思うようになりませんでした。就任半年後から、新型コロナという未知のウイルスが世界中で猛威をふるい同窓会活動の妨げとなりました。そんな中で、リモート会議、メール会議等で活動を継続してまいりました。新型コロナの脅威がなくなるまでの間は、このような対応を余儀なくされるでしょう。この間、専横な行動を厳に慎み小さな改革を積み重ねてまいります。ご理解・ご協力、よろしく申し上げます。

さて、これまで本学は創立以来、日本の教育を代表する学術の専門性、実践において常に注目され、高い評価を受けてきました。修了生の7割以上が、全国の教育現場で管理職や大学の教員となっており、まさに、兵庫教育大学大学院の修了生が日本の教育を支えているといっても過言ではありません。そして、教職大学院の先陣を切り、教育諸課題に関する難局を乗り越えるべく、教育のトップリーダーとしてさらに邁進しています。

同窓会といたしましても、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と社会貢献の一翼を担いたいと考えています。特に以下の四点に重点を置き、初心を忘れず、同窓会活動を推進していくつもりです。

まず、第一に、変化の激しい時代に柔軟に対応できる学び続ける同窓会、同窓生であるということです。第二に、大学に貢献できる同窓会であるために、毎年、全国大会を開催し、兵庫教育大学の教育活動、教育推進を支援するとともに、大学の認知度をさらに高めることです。第三に、同窓生の中で立派な研究実践されている方を表彰し、活用することです。本日の愛知県大会では、地元での実践活動を発表していただくことになっております。そして、四点目は、会則や各部の動き、ブロック体制の見直しなどを含めて検討し、新たな指針と具体策を示して速やかに実行していくことで同窓会をさらに活性化していくことです。しかし、これらの目標の達成は役員だけではできません。皆様のお力添えが不可欠です。同窓生の皆様におかれましては、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただきますよう心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日、公私ご多用の中、加治佐学長様はじめ、大学の役職員の皆様にご来賓としてご参加いただきましたことに深く感謝申し上げます。どうぞ、我々兵庫教育大学大学院同窓会に、今後ともお力添えいただきたく存じます。

本日の全国研究大会が成功裏に終わりますよう、ご協力よろしく願いいたします。

令和4年度 兵庫教育大学大学院同窓会役員（案）

会 長	新居 寛（兵庫）				
副 会 長	専門部長代表 船本秀忠（兵庫）		ブロック長代表 渡邊哲郎（山口）		
専門部長	組織部長 玉木 隆（岐阜）	総務部長 船本秀忠（兵庫）	研究部長 大前泰彦（和歌山）	会計部長 佐々木勇（岡山）	広報部長 大畑和典（広島）

相 談 役	武 泰稔（岡山）	吉田 廣（兵庫）	大橋 博（兵庫）	川村庸子（岩手）
-------	----------	----------	----------	----------

監 事	監事長 北山鎮道（岡山）	監事 田中嘉明（兵庫）	監事 中園大三郎（大阪）	監事 毛利直巳（島根）
-----	-----------------	----------------	-----------------	----------------

事務局長	菅野 恭介（兵庫）	院生協代表	吉良亜沙子（前期会長）	松下千紘（後期会長）
------	-----------	-------	-------------	------------

ブロック	理事				
	ブロック長	副ブロック長			
北海道・東北	小山文明（岩手）	水野和男（北海道）	糊澤 実（北海道）	千田健一（宮城）	村石好男（宮城）
関東	清水政義（東京）	小川 孝（埼玉）	松尾 鉄城（埼玉）	野田不二夫（東京）	荒井 豊（埼玉）
			向井 隆盛（埼玉）		
中部・東海 （組織部）	幸脇直久（岐阜）	梶原正史（山梨）	玉木 隆（岐阜）	森 社（岐阜）	下條英子（福井）
			勝俣得男（静岡）	山田達夫（静岡）	
近畿① （総務部）	尾崎文雄（兵庫）	横内 恵（兵庫）	船本秀忠（兵庫）	笠沙敏彦（京都）	五百住満（兵庫）
			北村純一（兵庫）	岡みゆき（兵庫）	菅野恭介（兵庫）
近畿② （研究部）	雲井 稔（大阪）	徳永加代（大阪）	村田卓生（大阪）	井上温子（大阪）	和田博之（大阪）
			松田雅代（大阪）	上田 幸司（大阪）	
近畿③ （研究部）	岸本秀章（奈良）	大前泰彦（和歌山）	山中賢司（奈良）	唐錦秀和（奈良）	西端幸信（和歌山）
東中国・四国 （会計部）	鷲見寛幸（鳥取）	野村ゆかり（高知）	佐々木勇（岡山）	藤原彰二（鳥取）	小田幸伸（岡山）
			後藤陽三（愛媛）	門屋 浩（愛媛）	
西中国 （広報部）	渡邊哲郎（山口）	津田和也（広島）	大畑和典（広島）	藤原尚幸（島根）	勝田 章（島根）
			兼房高広（広島）	波佐間 清（山口）	
九州・沖縄	草場聡宏（佐賀）	船津勇一（大分）	藤本岳大（福岡）		

支 部 代 表			
北海道	水野 和男	兵 庫	横内 惠
青 森	西澤 亨一		船本 秀忠
岩 手	山本 勉		菅野 恭介
宮 城	渥美 寿彦	大 阪	村田 卓生
秋 田	高橋 正規		井上 温子
山 形	本田 礼		和田 博之
福 島	人選中	奈 良	岸本 秀章
茨 城	吉田 重郎	和歌山	西端 幸信
栃 木	駒田 郁夫	鳥 取	藤原 彰二
群 馬	青木 雅夫	岡 山	小田 幸伸
埼 玉	小川 孝	徳 島	田村 明敏
千 葉	牧 雅英	香 川	野島 悟
東 京	野田不二夫	愛 媛	武田 明敏
神奈川	児玉 祥一	高 知	野村ゆかり
新 潟	碓井 欣一	島 根	毛利 直巳
富 山	人選中	広 島	津田 和也
石 川	林 信行	山 口	渡邊 哲郎
福 井	下條 英子	福 岡	藤本 岳大
山 梨	梶原 正史	佐 賀	草場 聡宏
長 野	猪瀬 洋一	長 崎	平戸 健吉
岐 阜	松村 敏幸	熊 本	八間川隆彦
静 岡	神尾 義敬	大 分	小池 楠男
愛 知	鈴木 均	宮 崎	後藤世志哉
三 重	大森 雅彦	鹿児島	松山 武史
滋 賀	西谷 淳	沖 縄	津留 一郎
京 都	村瀬 敏則		

※明朝体は前ページ役員等との兼務

※青字は新任支部代表

令和3年度 事業報告(案)

※ [] は会議の形式または場所 , [神戸・zoom] : 神戸ハーバーランドキャンパスとzoomのハイフレックス開催

年月日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R3. 6月	7(月) 上旬 19(土) 19(土)	R2会計報告・R3予算案作成=会計部 教育実践研究論文集Vol.2編集=研究部 会計監査=監事 定例役員会 [zoom] =総務部(準備・進行 以下も同様)	7(月)	修了生・卒業生連携センター会議① /R3 共同研究採択者, 教育実践研究活動に係る被表彰者決定
7月	7(水) 20(火) 31(土) 31(土)	「夢をつなぐ緊急募金」寄附 本部役員会 [メール]=総務部 教育実践研究論文集Vol.2発行=研究部 総会・第40回全国研究大会【北海道大会】 [ライフポート札幌・zoom] =北海道支部	31(土)	教育実践研究活動に係る表彰式 ・学長講話
8月	2(月) 中旬	教育実践研究表彰状・記念品、退任役員への感謝状・記念品送付(希望者) 同窓会報編集計画, 記事収集=広報部	初旬	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第11号(電子版)」編集
9月	30(木)	ブロック・支部助成金申請期限(後期)	27(月)	共同研究論文集「学校教育コミュニティ第11号(電子版)」発行・Web掲載
10月	14(木)	予算配分委員会(後期)[メール]	4(月) 4(月)	大学院同窓会研究助成金の採択審査 修了生・卒業生連携センター会議② [zoom]
11月	13(土) 25(木) 下旬	本部役員会 [神戸・zoom] =総務部 =進行: 総務部 兵庫教育大学研究助成金 寄附 同窓会入会案内作成	中旬	名簿登録情報調査(サラトに委託)
12月	7(火) 上旬 25(土)	院生協後期総会/船本副会長出席 ブロック・支部活動状況調査=組織部 愛知県大会打合せ=組織部	初旬	同窓会入会案内送付(入学予定者)
R4. 1月	初旬 下旬	支部会員名簿の作成 =事務局 支部会員名簿送付(希望支部) =事務局		
2月	初旬 19(土)	ブロック・支部活動状況調査まとめ=組織部 本部役員会 [zoom] =総務部	17(木) 19(土) 28(月)	研究助成金による成果発表会 /事務局長出席 大学院同窓会連携会議 [zoom] 共同研究論文集「学校教育コミュニティ第10号, 第11号」(冊子版)発行
3月	16(水) 31(水) 31(水)	同窓会報(第46号)発行=広報部 教育実践研究論文集Vol.3発行・Web掲載 =組織部 R4表彰推薦書・論文提出期限	23(水)	学位記授与式/ピンズ, 教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 来賓出席なし
4月	23(土) 28(木)	被表彰者選考委員会 [ZOOM] R4ブロック・支部助成金申請期限(前期)	5(火) 上旬 28(木)	入学式/教育実践研究論文集, 同窓会報等配布 来賓出席なし R3年度修了生・卒業生, 新入生の個人情報データ調査 R3 共同研究報告, R4 共同研究申請期限
5月	10(火) 21(土)	R4予算配分委員会(前期) [メール] 本部役員会 [zoom] =総務部	6(金)	共同研究選定委員評価依頼

<その他>

- ① 専門部会および各支部の総会・研究会を随時開催した。
- ② 兵庫教大教育実践ネットワーク(Hyokyo-net)を随時改良した。
- ③ 同窓会に関する情報をWeb(Hyokyo-net)やメールを活用して積極的に発信した。
- ④ 会員情報を同窓会事務局(修了生・卒業生連携センター)で管理した。
- ⑤ 会員情報の変更をWeb(Hyokyo-net)で案内するとともに、メールで常時受け付けた。

令和3年度 ブロック・支部活動報告

掲載期間令和3年1月～令和4年5月

活動日			支部・ ブロック	場所・方法	活動内容等	参加 人数
年	月	日				
R3	1	30	島根県	島根県民会館	第9回松江ブロック研修会 深い学びを実現する授業づくり～資質・能力を 育む評価の在り方～⑨	4
R3	3	13	島根県	島根県民会館	第10回松江ブロック研修会 深い学びを実現する授業づくり～資質・能力を 育む評価の在り方～⑩	5
R3	5	29	島根県	島根県民会館	第11回松江ブロック研修会 今後の研修内容について協議①	5
R3	7	25	和歌山県	オンライン	令和3年度 和歌山県支部総会	130
R3	7	31	北海道	H ライフオート札幌・ ハイフレックス	兵庫教育大学大学院同窓会 総会・全国研究大 会【北海道大会】	90
R3	7	31	島根県	島根県民会館	第12回松江ブロック研修会 今後の研修内容について協議②	4
R3	8	22	島根県	サンラポーむらくも・ オンライン	加治佐哲也学長講演会（県研修会）	7
R3	8	28	山口県		書面総会	
R3	9	25	島根県	島根県民会館	第13回松江ブロック研修会 学長講演会開催を受けて成果と課題及び今後の 研修について協議	2
R3	11	27	島根県	島根県民会館	第14回松江ブロック研修会 指導と評価の一体化～学びに向かう態度～①	5
R3	11	27	愛媛県	松山市道後温泉・ にぎたつ会館	愛媛うれしの会（愛媛県支部） 支部総会	9
R3	11	27	東中国・ 四国B	松山市道後温泉・ にぎたつ会館	東中国・四国ブロック研修会	9
R3	12	26	広島県	オンライン	令和3年度 支部総会	7
2022	1	8	岩手	サンセール盛岡・ ハイフレックス	教育・学びの未来を創造するスクール・プラッ トフォーム 岩手大会	31
2022	1	29	島根県	島根県民会館	第15回松江ブロック研修会 「地域に学び、未来を共に拓く生き方を問い続 ける社会科学習」	2
2022	3	26	島根県	島根県民会館	第16回松江ブロック研修会 『読書会①：「問いへの教育」O.F.Bollnow』	2

※役員会，打合せ会，懇親会等は記載しておりません。

令和3年度（第40期）会計決算報告（案）

自 令和3年6月1日 ～ 至 令和4年5月31日

【一般会計】

(収入の部)

科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	摘 要
会 費	3,839,120	3,839,120	0	令和3年度同窓会費
繰 越 金	3,076,231	3,076,231	0	第39期会計より繰越
雑 収 入	0	41	41	預金利息
収入合計	6,915,351	6,915,392	41	

(支出の部)

科 目	予算額 (円)	決算額 (円)	残額 (円)	摘 要	
総務部	役員会費	500,000	11,540	488,460	役員旅費(11月役員会)
	事務費	25,000	550	24,450	両替手数料
総務部計		525,000	12,090	512,910	
研究部	印刷製本費	200,000	307,740	△ 107,740	教育実践研究論文集vol.2, vol.3
	事務費	35,000	770	34,230	振込手数料
研究部計		235,000	308,510	△ 73,510	
広報部	会報印刷費	200,000	218,284	△ 18,284	同窓会報46号
	事務費	15,000	440	14,560	振込手数料
広報部計		215,000	218,724	△ 3,724	
組織部	ブロック会議経費	100,000	60,000	40,000	近畿② 東中国・四国
	支部活動助成金	300,000	228,703	71,297	島根県支部等 9支部
	事務費	43,000	25,720	17,280	全国研究大会準備会経費等
組織部計		443,000	314,423	128,577	
事務局	渉外費	10,000	4,620	5,380	山下相談役弔電
	印刷費	150,000	87,040	62,960	同窓会案内 総会関係冊子等
	旅費	20,000	3,380	16,620	
	事務費	260,000	75,588	184,412	感謝状・記念品 zoom契約料 等
事務局計		440,000	170,628	269,372	
総会運営費		500,000	500,000	0	補助金：北海道支部
院生協活動助成費		100,000	100,000	0	補助金：院生協議会
夢をつなぐ緊急募金		1,000,000	1,000,000	0	寄附金：新型コロナ対応基金
兵庫教育大学研究助成金		1,000,000	1,000,000	0	寄附金：院生研究助成 20万円×5人
支出合計		4,458,000	3,624,375	833,625	
予備費		2,457,351	0	2,457,351	予算の予備費は(収入合計)-(支出合計)で計上している。
総計		6,915,351	3,624,375	3,290,976	

収入決算合計	6,915,392 円
支出決算合計	3,624,375 円
差引残高	3,291,017 円

差引残高は、第41期一般会計の収入（繰越金）に充てます。

【運営積立金会計】

運営積立金は、同窓会活動の継続および必要不可欠な出費に備えて平成29年6月より定額預金（10年満期）として預けているものです。

現在高

科 目	金額（円）	摘 要
預入額①	10,190,000	平成29年6月5日預入
貯金利子②	5,003	預入日～令和4年5月までの利子
税 額③	766	
税引後元利合計金額 (①+②-③)	10,194,237	

運営積立金は、次年度も継続して預けます。

以上 第40期一般会計および運営積立金会計について報告いたします。

兵庫教育大学大学院同窓会 会 長 新居 寛
同 会計部長 佐々木 勇

会計監査報告

第40期一般会計及び運営積立金会計を監査した結果、正確であることを認めます。

令和4年5月31日

兵庫教育大学大学院同窓会 監事長 北山 鎮道
同 監 事 田中 嘉明
同 監 事 中園 大三郎
同 監 事 毛利 直巳

令和4年度 事業計画 (案)

※ [] は会議の形式または場所, [加東・zoom] : 加東キャンパスとzoomのハイフレックス開催

年 月 日		全体行事・専門部等事業	大学との連携事業	
R4 6月	1(水) 初旬	院生協前期総会/船本副会長出席 総会・全国研究大会案内, 同窓会報等送付 (修了生全員) = 事務局	初旬 9(木)	大学からの資料送付(修了生全員) 修了生・卒業生連携センター会議① [zoom]
	初旬 中旬	R3会計決算報告・R4予算案作成 = 会計部 会計監査 = 監事	中旬	共同研究採択通知, 事務手続
	18(土)	定例役員会 [加東・zoom] = 総務部 (準備・進行 以下同様)	18(土)	連携会議 [加東・zoom]
	7月 下旬	本部役員会 [メール] = 総務部		
8月	6(土) 中旬	総会・第41回全国研究大会【愛知県大会】 [アイリス愛知・zoom] = 愛知県支部 会報編集計画, 記事収集 = 広報部	6(土)	教育実践研究表彰・学長講話
	9月 30(金) 下旬	ブロック・支部助成金申請期限 (R4後期) 都道府県別大学院同窓会名簿の作成 = 事務局	中旬 下旬	大学院同窓会研究助成金の採択事務 共同研究論文集「学校教育コミュニティ第 12号発行
10月	初旬	予算配分委員会 (後期) [メール]	上旬	修了生・卒業生連携センター会議② [zoom]
11月	12(土) 下旬	本部役員会 [神戸・zoom] = 総務部 ブロック・支部活動状況調査 = 組織部		
	12月 初旬 初旬 初旬 下旬	同窓会入会案内作成 = 事務局 院生協R4後期総会/会長来賓出席 役員選考委員会 教育実践研究論文集Vol.4発行 = 研究部	中旬	同窓会入会案内送付
R5. 1月	初旬 下旬	支部会員名簿作成 = 事務局 支部会員名簿送付 (希望支部) = 事務局		
	2月 初旬 初旬 18(土) 下旬	ブロック・支部活動状況調査まとめ = 組織部 会報編集会議 = 広報部 本部役員会 [神戸・zoom] = 総務部 役員選考委員会	中旬	研究助成金による成果発表会/事務局出席
3月	初旬 下旬 31(金)	同窓会報 (第47号) 発行 = 広報部 役員選考委員会 R5表彰推薦書・論文提出期限	中旬 23(木)	修了生・卒業生連携センター会議③ [メール] 学位記授与式・謝恩会 /会長来賓出席, ピンズ・教育実践研究論 文集・同窓会報等配布
	4月 下旬 下旬 28(金)	被表彰者選考委員会 役員選考委員会 ブロック・支部助成金申請期限 (R5前期)	5(水) 初旬 28(金)	入学式・新入生歓迎会/会長来賓出席 R4修了生・卒業生, R5新入生の個人情報デ ータ調査 R4共同研究報告書, R5共同研究申請期限
5月	中旬 20(土) 下旬	予算配分委員会 (R5前期) 本部役員会 (zoom) = 総務部 全国大会案内・会報等送付 (全修了生)	中旬 下旬	共同研究選定委員会 大学資料送付 (全修了生)

① 専門部会は随時開催する。

② 同窓会情報の発信や会員連絡ツールとしてメールやHyokyo-netを活用する。

③ 会員情報は修了生・卒業生連携センターで管理する。

④ 会員情報の変更はHyokyo-netやメール (office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp) で常時受け付ける。

⑤ 支部は修了生・卒業生連携センターと協力し, 会員の不明情報の補完に努める。

令和4年度（第41期）会計予算（案）

自 令和4年6月1日 ～ 至 令和5年5月31日

【一般会計】

(収入の部)

科 目	40期決算額 (円)	41期予算額 (円)	摘 要
会 費	3,839,120	3,839,120	令和4年度同窓会費
繰 越 金	3,076,231	3,291,017	第40期会計より繰越
共同研究経費	0	1,200,000	大学より入金（R4年度より）
雑 収 入	41	0	
収入合計	6,915,392	8,330,137	

(支出の部)

科 目	40期決算額 (円)	41期予算額 (円)	摘 要	
総務部	役員会費	11,540	600,000	役員旅費等
	事務費	550	25,000	需用費・旅費・会議費等
	総務部計	12,090	625,000	
研究部	印刷製本費	307,740	250,000	教育実践研究論文集vol.4
	事務費	770	30,000	需用費・旅費・会議費等
	研究部計	308,510	280,000	
広報部	会報印刷費	218,284	250,000	同窓会報47号
	事務費	440	10,000	需用費・旅費・会議費等
	広報部計	218,724	260,000	
組織部	ブロック会議経費	60,000	100,000	ブロック活動の支援
	支部活動助成金	228,703	300,000	支部活動の支援
	事務費	25,720	40,000	需用費・旅費・会議費等
	組織部計	314,423	440,000	
事務局	渉外費	4,620	15,000	慶弔費等
	印刷費	87,040	120,000	同窓会案内 総会関係冊子等
	旅費	3,380	200,000	役員選考委員旅費等
	事務費	75,588	100,000	感謝状・記念品・zoom契約料・需用費・会議費等
	事務局計	170,628	435,000	
総会運営費	500,000	500,000	補助金：愛知県支部	
院生協活動助成費	100,000	100,000	補助金：院生協議会	
夢をつなぐ緊急募金	1,000,000	0	寄附金：コロナ対応基金（R4年度は行わない）	
兵庫教育大学研究助成金	1,000,000	1,000,000	寄附金：院生への研究助成金 20万円×5人	
共同研究経費	0	1,200,000	共同研究採択者に給付（R4年度より）	
支出合計	3,624,375	4,840,000		
予備費	0	3,490,137	予備費は予算額の（収入合計）－（支出合計）としている。	
総計	3,624,375	8,330,137		

【運営積立金会計】

現在高 10,194,237円 を継続して預けます。支出の予定はありません。

以上 第41期一般会計および運営積立金会計について提案いたします。

兵庫教育大学大学院同窓会 会 長 新居 寛
同 会計部長 佐々木 勇

令和3年度 退任役員

同窓会役員をお務めいただき、本会の発展にご尽力くださいました次の方々が、令和3年度末をもって役員を退かれました。本部活動はもとより、支部活動の牽引役としてその功績は非常に大きいものです。これまでのご貢献に深く感謝の意を表します。

また、一定の要件を満たされた方には感謝状と記念品をお贈りいたします。

氏名	支部	期	退任時の役職
酒巻 成欣	大阪府	2	相談役
山下 裕	広島県	5	相談役
大森 直也	京都府	21	京都府支部代表
清田 公典	愛媛県	2	愛媛県支部代表
西山 和孝	大分県	22	大分県支部代表

大学院同窓会会長を歴任され、令和3年度まで長きにわたって相談役としてお世話になっておりました酒巻成欣様、山下裕様が昨年ご逝去されました。お二人の同窓会への多大なご貢献に深く感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

兵庫教育大学大学院同窓会会則

(昭和 57 年 2 月 24 日制定)

第 1 章 総 則

第 1 条 この会は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「本会」という。）と称する。

第 2 条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、大学との連携を推進して、学校教育に関する諸問題について意見を交流することを目的とする。

第 3 条 本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。

- 1 総会及び研究会の開催
- 2 会報等の発行
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

第 2 章 会 員

第 4 条 本会の会員は次のとおりとする。

- 1 正会員
- 2 特別会員

第 5 条 正会員は兵庫教育大学大学院修了者及び在学者とする。

第 6 条 特別会員は兵庫教育大学に在職又は在職した教職員とする。

第 3 章 役 員

第 7 条 本会に次の役員を置く。

- 1 相談役 若干名
- 2 会長 1 名
- 3 副会長 2 名
- 4 専門部長 各部 1 名
- 5 ブロック長 各ブロック 1 名
- 6 副ブロック長 各ブロック 1 名
- 7 理事 若干名（同窓会事務局長，院生協代表を含む）
- 8 監事 若干名（内 1 名を監事長とする。）
- 9 支部代表 各支部 1 名

第 8 条 役員の仕事は次のとおりとする。

- 1 相談役 会務全般の相談に応じる。
- 2 会長 本会を代表し会務を掌理する。
- 3 副会長 会長を補佐する。
- 4 専門部長 本会の運営にあたり，専門部の会務を司る。
- 5 ブロック長 ブロック内支部間の調整を図り，ブロックの会務を司る。
- 6 副ブロック長 ブロック長を補佐する。
- 7 理事 本会の運営にあたる。
- 8 監事 本会の会計及び事業を監査する。
- 9 支部代表 支部の会務を司る。

第 9 条 役員の出選方法は次のとおりとする。

- 1 第 7 条第 1 項から第 8 項の各役員は，役員選考委員会で選考し，総会において承認する。
- 2 支部代表は，各都道府県支部において選出する。支部代表選出に関し必要な事項は，別に定める。

第 10 条 役員の出任期は、2 年とする。

ただし、欠員を生じた場合の後任の役員の出任期は、前任者の出任期の残余の出期間とする。

- 2 前項の規定による役員は，再任されることができる。
- 3 会長については，3 期（6 年）を上限とする。

第4章 役員選考委員会

第11条 役員選考委員は、役員の中から選出する。同選考委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 顧問

第12条 本会に顧問を置くことができる。

第13条 顧問は特別会員の中から若干名を会長が委嘱する。

第14条 顧問は会務に関し会長の諮問に応ずる。

第6章 会議

第15条 総会は正会員をもって構成し本会の重要事項を審議・議決する。

2 総会が開催できない場合は、役員会での審議・議決をもって総会の審議・議決に代えることができる。ただし、以後の総会で報告しなければならない。

第16条 役員会は第7条に規定する役員をもって構成し、本会の重要事項を審議する。

第17条 本部役員会は、第7条に規定する役員のうち、会長、副会長、専門部長、ブロック長、副ブロック長（ただし、専門部を設置していない4ブロック）、監事長、事務局長、院生協代表をもって構成する。

2 本会の重要事項に関して審議し、企画・運営の調整を図るものとする。

第18条 議事はすべて出席者の過半数をもって決する。

第7章 専門部

第19条 第3条に規定する事業を実施するため、専門部を置く。

2 専門部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 ブロック・都道府県支部・部会

第20条 本会はブロックを置く。

第21条 本会は都道府県に支部を置く。

第22条 本会は専攻コースに部会を置く。

第23条 ブロック・支部・部会に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 会計

第24条 本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。

第25条 正会員は入会時に会費として1万5千円を納める。ただし、納入された会費は返還しない。

第26条 本会の会計は一般会計と特別会計（総会会計）とする。

第27条 本会の会計年度は毎年6月1日に始まり、翌年の5月31日に終わる。

第10章 雑則

第28条 本会則の変更は総会の決議による。

第29条 本会の運営に関し必要な事項は役員会が別に定め、総会に報告する。

第30条 本会の事務局を兵庫教育大学におき、事務局長が事務を統括する。

附 則 本会則は、昭和57年2月24日に制定する。

中略

平成25年8月3日に改正し、平成25年6月1日から適用する。

” 26年8月9日改正

令和元年8月3日改正

令和3年7月31日改正し、令和3年6月1日から適用する。

兵庫教育大学大学院同窓会専門部運営に関する細則

(平成 25 年 8 月 3 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 19 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(専門部)

第 2 条 本会に次の専門部を設ける。

- 1 総務部
- 2 会計部
- 3 研究部
- 4 広報部
- 5 組織部

(専門部の構成・担当ブロック)

第 3 条 各専門部は、部長と理事により構成する。

2 専門部の担当ブロックは、原則として、次のとおりとする。

- (1) 総務部 近畿①ブロック
(滋賀県, 京都府, 兵庫県)
- (2) 会計部 東中国・四国ブロック
(鳥取県, 岡山県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県)
- (3) 研究部 近畿②・近畿③ブロック
(大阪府, 奈良県, 和歌山県)
- (4) 広報部 西中国ブロック
(島根県, 広島県, 山口県)
- (5) 組織部 中部・東海ブロック
(新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県)

(専門部の役割)

第 4 条 本会の目的を達成するため、次の役割を担って専門部会の活動を行う。

- 1 総務部 会務に関する一般事務並びに総会及び諸会議の開催事務に関すること。
- 2 会計部 会計事務に関すること。
- 3 研究部 学校教育の諸問題を主題とした研究会及び研究上の情報交換に関すること。
- 4 広報部 会報の編集及び発行に関すること。
- 5 組織部 組織の整備に関すること。

兵庫教育大学大学院同窓会ブロック組織に関する細則

(平成 24 年 7 月 28 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「同窓会」という。）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 23 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(ブロック)

第 2 条 同窓会は、組織の単位として、次の各号に掲げるブロックを置く。

- (1) 北海道・東北ブロック
北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
- (2) 関東ブロック
茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県
- (3) 中部・東海ブロック
新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県
- (4) 近畿①ブロック
滋賀県，京都府，兵庫県
- (5) 近畿②ブロック
大阪府
- (6) 近畿③ブロック
奈良県，和歌山県
- (7) 東中国・四国ブロック
鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県
- (8) 西中国ブロック
島根県，広島県，山口県
- (9) 九州・沖縄ブロック
福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

(ブロック長及び副ブロック長)

第 3 条 各ブロックにブロック長を 1 人及び副ブロック長を 1 人置き、同窓会理事の中から、役員選考委員会において選考する。

2 ブロック長は、次の各号に掲げる任務を行う。

- (1) 各ブロック内での活動の統括・連携及び連絡調整に関すること。
- (2) 各ブロック内での支部の活性化及び支部の支援に関すること。
- (3) 各ブロックとの連携に関すること。
- (4) その他各ブロックに関すること。

3 副ブロック長は、ブロック長を補佐する。

(代表ブロック長)

第 4 条 同窓会長は、ブロック長の中から代表ブロック長を指名する。

2 代表ブロック長は、各ブロック長との連絡調整を行う。

附 則 本規則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

支部代表選出に関する細則

(昭和 59 年 8 月 24 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日より施行）第 9 条第 2 号の規定に基づき、支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

(選出方法)

第 2 条 支部代表の選出方法は次のとおりとする。

- 1 各都道府県支部において、それぞれ 1 名を選出する。
- 2 大阪府支部及び兵庫県支部においては、支部の必要に応じて支部代表を 3 名まで選出できる。
- 3 各支部は、選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附 則 本細則は平成 9 年 8 月 23 日改正

本細則は平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

役員選考委員会運営細則

(昭和 58 年 8 月 27 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 11 条の規定に基づき、役員選考委員会の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第 2 条 役員選考委員会は次期役員を選考し、役員会で了承を得た後、総会に報告することを任務とする。

(役員選考委員の選出)

第 3 条 役員選考委員は、役員の中から若干名を互選する。

附 則 本細則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

令和4年度



兵庫教育大学大学院同窓会 全国研究大会

開催日 令和4年8月6日(土)
於 アイリス愛知・オンライン

大会次第

1. 開会行事 13:40
 - (1) 主催者挨拶
 - (2) 来賓挨拶・来賓紹介

2. 教育実践研究活動等に係る表彰 14:00

3. 学長講話 14:20
「これからの日本の教育と兵庫教育大学」
兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏

4. 教育実践発表 15:00
 - (I) 「算数科における『かく力』の育成に関する研究」
発表者：名古屋市立中根小学校 教諭 水野 貴彦 氏
 - (II) 「魅力ある学校づくりを目指した取り組み
―生徒一人ひとりの心に灯をつける活動を通して―」
発表者：武豊町立緑丘小学校 教諭 山本 篤司 氏

5. 記念講演 16:00
「子どもたちの将来展望と、『いじめ』『インターネット依存』の関連を考える」
講師：中部大学 現代教育学部 教授 三島 浩路 氏

6. 閉会行事 17:00

子どもの生涯にわたる幸せのために

愛知県大会実行委員長 片山 裕之

兵庫教育大学大学院同窓生の皆様、ようこそ愛知県へ。心より歓迎いたします。平成11年以来23年ぶりの愛知県大会を、会場参加とオンライン参加を選択できる「ハイフレックス方式」で開催でき、全国の皆様と交流できることは大きな喜びです。開催にあたりお世話になりました同窓会及び大学関係者の皆様に改めてお礼申し上げます。

愛知県には、幼稚園（こども園含む）627園、小学校967校、中学校435校、義務教育学校2校、高等学校219校、中等教育学校1校、特別支援学校37校があります（令和3年5月1日学校基本調査）。そのうちの一つのA小学校の昭和20年の学校日誌を紐解くと次のような記載がありました。

【昭和20年 愛知県内A小学校「学校日誌」より】

- 5月10日 低学年研究会 第2時 研究授業 午後1時 研究授業懇談会
- 6月14日 奥殿校研究会 第2時 初等3年研究授業 第4時 研究授業懇談会
- 7月10日 山中校研究会

戦争最末期にもかかわらず、5月、6月、7月と月に一度、先生方が校内授業研究会を開いたり、他校の研究会に参加したりしているのです。さらに読み進めると・・・。

- 7月20日 岡崎空襲 旧市街全焼（欠席67人）
- 8月15日 重大放送聴取
- 8月18日 水泳訓練（第1時終了後各学年ごとに実施）
- 9月29日 校外教授遠足（1, 2年瀧山寺、3, 4年真福寺、5, 6年東楽園）

終戦の3日後に近くの川で水泳を行っています。翌9月には、遠足に行っています。大変な社会状況にも関わらず、穏やかな自然の中で、先生たちが子どもたちと水泳をしたり、歩いたり、お弁当を食べたりしている楽しそうな情景が目に見えてきます。

子どもを取り巻く社会の状況が厳しい、教育環境・条件が十分でない、そのような中でも、いや、そのような中だからこそ、学校に行けば信頼できる先生がいる、仲の良い友達がいる、いろいろなことを学ぶことができる、安心して楽しく過ごすことができるのです。「学び舎に幸せあり」です。私たちは、こうした学び舎づくりに主体的に取り組む教師をめざし、力量を高めていきたい。そうした願いを込めて、大会のテーマを設定しました。

本大会で、全国の同窓生のみなさんと情報交換をし、交流を深め、子どもたちの生涯にわたる幸せのために、それぞれの立場で何をめざし、どのように実践・研究していくのかについて考えていければと願っています。どうぞよろしく願いいたします。



教育実践研究活動等に係る表彰受賞者

本表彰は平成 22 年から実施しています。兵庫教育大学大学院学校教育研究科の修了生本人または構成員とする団体の教育実践研究活動等における顕著な成果や功績に対して、学長と同窓会長の連名で表彰を行うものです。令和 4 年度は役員推薦 3 名、教育実践研究論文 4 名が受賞されました。

役員推薦

賞	氏名	主な教育実践研究活動	専攻・コース・期
嬉野賞	米谷 光弘 (福岡県)	西南学院大学人間科学部教授 一般財団法人国際グローバル交流発展協会代表理事 幼児健康学・幼児体育学の実践及び研究に加えて、保育学・乳幼児教育学の本質について研究、提言をされ国際的・学際的・学術的な立場から国内外の保育者及び教員養成の大学教鞭を西南学院大学で執られ、保育の一元化に寄与された。	学校教育専攻 幼児教育コース 2 期
奨励賞	寺田 道夫 (岐阜県)	東海学院大学人間関係学部心理学科客員教授 岐阜県の公立小・中学校で教諭・教頭・校長を歴任され、その後は、東海学院大学心理学科で准教授・教授・客員教授として学部・院生の指導に尽力された。長年不登校問題に関わり、臨床実践および学術研究に取り組み、著書「不登校の子どもの理解と支援」を出版された。	学校教育専攻 教育基礎コース 1 期
奨励賞	小林 由美子 (愛知県)	名古屋学院大学スポーツ健康学部准教授 名古屋市のスクールカウンセラーの育成に努め、文部科学省いじめ等不登校支援事業審査委員として全国の教育実践の推進に寄与するとともに、教育研究学会の発表や教育専門誌の執筆で最新の教育情報や自らの研究成果を伝えた。 また、本学大学院同窓会理事として同窓会活動の推進に尽力された。	学校教育専攻 生徒指導コース 10 期

教育実践研究論文（奨励賞）

氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
井上 敏孝 (兵庫県)	非対面型授業における授業構想力の育成 －教員養成課程における「社会科教育法」を通して－	教科・領域教育学専攻 社会系コース 28 期
馬場 裕子 (大阪府)	異言語環境における「感覚共有」についての一考察 －海外書道実践とサッカーチームの事例から－	教科・領域教育学専攻 言語系コース（国語） 27 期
西小路 勝子 (兵庫県)	明治後期の保育実践内容と保育意図についての考察 －大阪市立愛珠幼稚園の「保育要目草案」に着目して－	学校教育専攻 幼年教育コース 28 期
浦郷 淳 (佐賀県)	ICT 活用が生み出す生活科授業での「時間」についての一考察 －1 年生「学校紹介」に焦点をあてて－	教育実践高度化専攻 教育実践リーダーコース 29 期

学長講話

「これからの日本の教育と兵庫教育大学」

兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也 氏

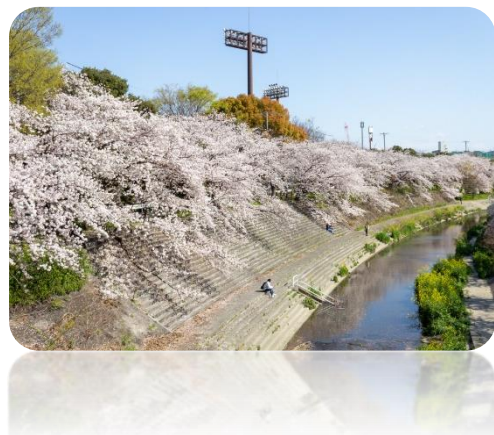
<メモ>



教育実践発表（Ⅰ）

「算数科における『かく力』の育成に関する研究」
名古屋市立中根小学校 水野 貴彦 教諭

<メモ>



教育実践発表（Ⅱ）

「魅力ある学校づくりを目指した取り組み」

—生徒一人ひとりの心に灯をつける活動を通して—

武豊町立緑丘小学校 山本 篤司 教諭

<メモ>



記念講演

「子どもたちの将来展望と、『いじめ』『インターネット依存』の関連を考える」

中部大学 現代教育学部 教授 三島 浩路 氏

プロフィール：

小学校に約 20 年勤務、兵庫教育大学大学院（生徒指導コース）、
名古屋大学大学院教育発達科学研究科（博士(心理学)）修了

「いじめ」・スマートフォン依存等について、社会心理学・学校
心理学の視点から研究されています。



<メモ>

夢をつなぐ

緊急募金のお願い



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也

同窓会の皆様、日頃から兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、これまでに兵庫教育大学基金へ多くのご寄附をいただき、改めて感謝いたします。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、保護者等の家計急変やアルバイト収入の減少により窮地に立たされている学生がいます。本学では、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト」を立ち上げ、経済支援を行っていますが、長期的な支援が必要となることが予想されるため、緊急募金をお願いすることとしました。

皆様におかれましても、大変厳しい状況下でのお願いになりますが、全ての学生の教職をはじめとする将来の夢をつなぐために、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附の方法

添付①の「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト」専用振込用紙を用いて、郵便局（ゆうちょ銀行）からお振り込みください。振込手数料は大学負担となります。

また、以下の兵庫教育大学基金ウェブページより、クレジットカード決済／コンビニ決済／インターネットバンキング決済（Pay-easy）の払込方法でも、ご寄附いただけます。

<https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin.php#4>



※その他の方法によりご寄附を希望される場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

兵庫教育大学基金事務室（総務企画課総務チーム）

E-mail : gen-kikin@ml.hyogo-u.ac.jp

これまでに実施した支援の例

約 300 人の学生を対象に授業料の免除(一部免除)を実施し、《その他の支援》うち、本基金から 33 人の授業料免除を措置しました。

《学生の声》

実家でもコロナの影響がひどく、家庭の収入も大幅に減少したことから、アルバイトをして学費を払い生計を維持している状況でしたが、学費はどうしたらいいのかすごく悩んでいました。

支援して頂いたおかげで、状況も少し落ち着き勉強のために毎日頑張っています。ありがとうございました。

- ・タブレット端末の購入費用の一部補助
- ・教育実習等における PCR 検査費用の補助
- ・授業料の納付時期の延期、徴収猶予



その他の事業のご案内

本学では、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済的困窮学生支援プロジェクト」の他にも、以下の事業において、ご寄附を募集しております。一層の教育研究活動の推進に資するため、兵庫教育大学基金へのご協力をよろしくお願いいたします。

《ご寄附の方法》

添付②の「その他の事業」振込用紙を用いて、郵便局（ゆうちょ銀行）からお振り込みください。振込手数料は大学負担となります。

また、表面に記載のクレジットカード決済／コンビニ決済／インターネットバンキング決済（Pay-easy）の払込方法でも、ご寄附いただけます。その他の方法によりご寄附を希望される場合は、問い合わせ先までご連絡ください。

① 学生への修学支援事業

経済的理由により修学困難な学生に対する授業料の減免、奨学金の貸与及び給付、海外留学に係る渡航費用の一部補助並びにリサーチ・アシスタント又はティーチング・アシスタントとしての雇用

② 学生への育英事業

成績が優秀な学生（①により、奨学金の貸与又は給付の対象となる者を除く。）に対する奨学金の給付

③ グローバル化推進事業

学生（①により、渡航費用の一部補助を受ける者を除く。）の海外留学に係る渡航費用の一部助成及び外国人留学生に対する奨学金の給付

④ 本学の教員又は大学院生に対する研究支援事業

本学の教員又は大学院生に対する研究支援

⑤ 卒業生・修了生との連携活動事業

本学の卒業生・修了生と連携した研究活動への支援

⑥ 教育研究環境整備事業

教室、学生宿舎等の施設・設備の整備及びその他教育研究環境の整備



税制上の優遇措置について

兵庫教育大学基金に対するご寄附については、税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくは、以下の兵庫教育大学基金ウェブページをご覧ください。

<https://www.hyogo-u.ac.jp/kikin.php>



令和5年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会 第42回全国研究大会【大阪・奈良・和歌山大会】の概要

- 1 開催日 令和5(2023)年8月5日(土) 6日(日)
- 2 会場 『大阪府教育会館たかつガーデン』
大阪市天王寺区東高津町 7-11 ☎06-6768-3911
- 3 大会組織 相談役：大槻俊雅(大阪) 山中賢司(奈良) 西端幸信(和歌山)
委員長：樋口洋三(大阪)
副委員長：村田卓生(大阪) 岸本秀章(奈良) 大前泰彦(和歌山)
事務局長：雲井 稔(大阪)
- 4 開催方法 ハイフレックス方式(コロナの感染状況次第)
- 5 内容
12:00 受付
13:00 同窓会総会
14:00 研究大会
 - ① 開会行事
 - ② 学長挨拶・講話
 - ③ 研究発表会
 - ・和歌山 発表・討議
 - ・奈良 発表・討議
 - ・大阪 発表・討議
 - ④ 閉会行事※ 終了後、記念撮影
- 6 情報交換会 … ※コロナの感染状況次第
- 7 巡検(奈良方面) … ※コロナの感染状況次第



あとがき

同窓生、関係者のみなさま、令和4年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会、および、大41回 全国研究大会にご参加くださり、誠にありがとうございます。

愛知県及び名古屋市からは、かつて継続的に比較的多くの現職教員の派遣があり、修了生は名古屋、尾張、三河の各地域で様々な形で活躍しています。これも、兵庫教育大学大学院で恩師から多くの教えを受け、全国から集まる仲間と学び合ったおかげです。ただ、同窓会支部としての組織的活動は活発にできていない状況でした。今回、平成11年に開催して以来23年ぶりに愛知県で開催するとの方針を受け、有志で実行委員会を立ち上げ、連絡を取り合って準備をしてまいりました。おかげで、県内の仲間、全国の仲間、大学本部、同窓会本部の皆様と新たなネットワークを築くことができました。今回いただきましたこの御縁を大切に、大きな財産として、子どものための教育活動充実に活かしていきたいと考えています。

関係の皆様におかれましても、本研究大会をきっかけに、同窓生相互、同窓生と同窓会本部、同窓生と母校との連携を一層深めていただければ幸いです。

結びに、本大会を開催するにあたり、準備から当日の運営まで親身になってご協力くださいました同窓会本部及び役員のみなさま、そして、愛知県支部関係者の皆様に厚く御礼申し上げ、あとがきとさせていただきます。

兵庫教育大学大学院同窓会 全国研究大会愛知県大会
実行委員会事務局長 加藤 有悟





兵庫教育大学大学院同窓会

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

電話 0795-44-2406 2375

F A X 0795-44-2376

E-mail office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp